

大曲養護学校仙北地区分教室の基本構想について

平成 23 年 9 月 1 日

特別支援教育課

1 設置の趣旨

仙北市に分教室を設置することにより、児童生徒の通学の負担軽減を図る。

2 仙北地区分教室の特色 「ふれあう 認めあう 育ちあう」

(1) 地域の資源を活用した教育活動

・地域での教育力を最大限活用し、
樺細工などの地場産業との関連
をもたせた作業学習や進路学習

・市街地にある立地条件を生かした、
商店街や観光協会などと連
携した地域貢献活動

・角館の桜祭り等地域行事におけ
るボランティア及び環境整備活
動

・多くの観光資源を活用した学習
活動や観光関連分野への就労

(2) 高等学校と併設による利点を生かした教育活動

・障害のある児童生徒とない生徒
が同じ校地で学習活動に参加す
ることによる共生理念の育成

・日常的な交流活動による思いや
りの心や感動する心、協調性な
ど豊かな人間性や社会性の体得

・共に活動し、ふれあう機会等の
意図的、計画的学習場面の設定

・教職員同士の連携による、進路
指導やキャリア教育の充実

3 整備計画(案)

- ・平成 25 年度 暫定仙北地区分教室設置 (平成 27 年度まで)
- ・平成 27 年度 仙北地区分教室校舎建築工事 (現角館南高校敷地)
- ・平成 28 年度 仙北地区分教室新校舎使用開始

4 大曲養護学校の現状（平成23年度）

(1) 児童生徒状況

全校児童生徒数 150人（小学部45、中学部42、高等部63）
 内 寄宿舎生 36人（小学部 0、中学部 6、高等部30）

(2) 仙北市居住児童生徒数33人（訪問教育の小4児童1人含む）

※仙北市居住者は、全体の22%

学 部	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	地区内訳		
								角 館	西 木	田沢湖
小学部	12	2	1	0	3	5	1	9	2	1
中学部	10	5	2	3				4	2	4
高等部	11	2	3	6				6	1	4
合 計	33							19	5	9

(3) 仙北市居住児童生徒の通学方法（訪問教育の小4児童1人除く）

学 部	計	寄宿舎	自宅 通学	自宅通学状況別				
				スクールバス+		市公用車地区内訳		
				自家用車	市公用車	角館	西木	田沢湖
小学部	11	0	11	8	3	2	0	1
中学部	10	1	9	2	7	2	2	3
高等部	11	5	6	3	3	1	1	1
合 計	32	6	26	13	13	5	3	5

(4) 仙北市居住児童生徒の通学時間（片道）

学 部	計	40分～	60分～	80分～	100分～
小学部	11	3	3	5	0
中学部	9	3	1	3	2
高等部	6	2	2	1	1
合 計	26	8	6	9	3